

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【公開番号】特開2008-134520(P2008-134520A)

【公開日】平成20年6月12日 (2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2006-321544(P2006-321544)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 21/00 D

G 0 9 G 5/00 5 5 5 G

G 0 9 G 5/00 5 5 5 H

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 4 2 J

G 0 9 G 3/20 6 3 1 V

G 0 9 G 3/20 6 3 1 K

G 0 9 G 3/20 6 7 0 Z

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 5/00 X

H 0 4 N 9/31 Z

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像供給装置からの画像信号に応じた画像を、光学系を介して投射する画像投射装置であって、

前記光学系に対して移動可能な光学フィルタと、

該光学フィルタの位置に応じた情報成分を含む情報ユニットを前記光学フィルタの位置毎に各々対応して記憶された複数のメモリと、

該複数のメモリの中から、前記光学フィルタの位置に応じた情報成分を含む情報ユニットが記憶されたメモリを選択し、該選択したメモリから前記情報ユニットを前記画像供給装置に出力させる選択手段と、

を有することを特徴とする画像投射装置。

【請求項 2】

前記画像投射装置は、前記光学フィルタの位置が互いに異なる複数のモードを有し、

前記選択手段は、設定されたモードに応じて前記メモリを選択することを特徴とする請求項 1 に記載の画像投射装置。

【請求項 3】

前記光学フィルタが前記光学系の光路上に位置する第 1 モードと、
前記光学フィルタが前記光学系の光路上に位置しない第 2 モードと、
を有することを特徴とする請求項 2 に記載の画像投射装置。

【請求項 4】

前記メモリは、不揮発性メモリであることを特徴とする請求項 1 に記載の画像投射装置

。

【請求項 5】

前記情報ユニットは、E D I D 情報であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像投射装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 つに記載の画像投射装置と、該画像投射装置から出力された前記情報ユニットに応じた画像信号を前記画像投射装置に供給する画像供給装置とを有することを特徴とする画像投射システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明の一側面としての画像投射装置は、画像供給装置からの画像信号に応じた画像を、光学系を介して投射する画像投射装置であって、前記光学系に対して移動可能な光学フィルタと、該光学フィルタの位置に応じた情報成分を含む情報ユニットを前記光学フィルタの位置毎に各々対応して記憶された複数のメモリと、該複数のメモリの中から、前記光学フィルタの位置に応じた情報成分を含む情報ユニットが記憶されたメモリを選択し、該選択したメモリから前記情報ユニットを前記画像供給装置に出力させる選択手段と、を有することを特徴とする。